



希望の鐘 The Bell of Hope

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 29-01

7月号

発行 2026年7月13日

Chartered 1998

川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

副会長 松川 厚子

国際会長: ヨハン・ヴィルヘルム・エルドヴィク(ノルウェー)

会 計 吉田 公代

主題 “Waking the Sleeping Giant with Blue Music”

『ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる』

スローガン “YMI-Empowering Life” 『YMI-人生を力づける』

書 記 吉野 勝三郎

アジア太平洋地域会長: ラチャン・マニカーン(タイ)

主題 “Awakening the AsiaPacific Area with Blue Music”

『アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる』

スローガン “Empowering Communities, Inspiring Generations”

『地域社会を力づけ、世代を鼓舞する』

東日本区理事: 山下 真(十勝クラブ)

主題 『挑戦なくして進化なし』

スローガン 『響け 挑戦のブルーミュージック』

7月の聖句

愛は忍耐強い。

妬まない。

愛は情け深い。

愛は自慢せず、高ぶらない。

礼を失せず、自分の利益を求めず、怒らず、

悪をたくらまない。

(新約聖書 コリントの信徒への手紙一 13章4・5節)

Love suffers long and is kind.;

Love does not envy;

Love does not puffed up;

does not behave rudely, does not seek its own,

is not provoked, thinks no evil.

(1 Corinthians 13:4-5)

(6月27日例会出席率)

出席者 9名 クラブメンバー出席率 90%

川越クラブ 6月例会議事報告

利根川太郎

日時:2026年6月27日(土)14:00~16:00

会場:川越センター 1階

6月7日頃に関東地方も梅雨入りして、じめじめした日が続くようになってきました。南の海上で発生した二つの台風8号と7号が相次いで関東付近を通過する予報のもと、6月27日(土)に、2025-2026年度最後の川越クラブ例会を、川越YMCAにて開催しました。関東南部では大

雨とのニュースが流れましたが、埼玉県では幸いにも雨風も強くならず、行き帰りもちょうど雨の止み間で、クラブメンバーの日頃の行いが良いことが示された日となりました。

例会では冒頭に、川越クラブにご加入いただきました、五十嵐政二様とかほるメネットの歓迎セレモニーを行いました。お二人は、芦屋クラブで長く活動され、こちらにお住まいを移されたのを機に川越クラブの例会に参加してくださっていました。このたび正式にメンバーとして五十嵐政二様に、メネットとしてかほる様に加入していただけることになりましたので、ここにご報告をいたします。川越クラブは、お二人の加入を心から歓迎いたします。

続いて、ユースボランティアメンバーの木本君、新井君、河合さんから「ENBIROI」についての活動報告と協力依頼がありました。

「ENBIROI」は、「YMCAクローバークラブ川越ボランティア部」と地域ボランティア「この指止まれ」が協働して立ち上げた交流事業です。詳しい内容は、このブリテンに記載されたボランティアメンバーからの報告に譲りますが、川越クラブは、7月25日(土)の「ENBIROI」の活動に協力することとしました。

以下、事務例会の報告をします。

1. 関東東部第2回評議会報告および次期クラブ役員研修会報告

・2026-2027年度関東東部役員、部大会の扱いについて部則の変更が承認されました。

2. 東日本区年次代議員会報告

・2026-2027年度理事は山下真さん(十勝)、

2027-2028年度および2028-2029年度理事は小林隆さん(熱海グローリー)、

2026-2028 年度財政監事は若木一美さん(鎌倉)です。
・第 30 回東日本区大会は 2027 年 6 月 5 日(土)に北海道札幌市で開催されます。

3. 東日本区大会物品販売について

・川越クラブの Y の森コーヒー 2,200 円と、いも菓子(イモ松葉 550 円イモ納糖 700 円)は、いずれも完売いたしました。この場を借りて、皆様に御礼申し上げます。

4. 今年度の会計実績報告があり、この結果を基に、次年度の会費については 40,000 円とすることを確認しました。

5. Y の森コーヒーの会計の帰属については、今後のイモファンドの検討と合わせて、次回の例会で決定することとしました。

7. 2026-2027 年度の川越クラブの行事計画については、7 月のキックオフ例会にて検討することとします。ウクライナの方の卓話や大島牧師の福島の実状についての卓話などの案がありました。

次回例会は、7 月 25 日(土)14:00~16:30 ウェスタ川越 2 階「会議室 2」で行います。

場所と時間に注意してください。

・14:00~14:30「ENBIROI」の活動に参加します。

・14:30~16:30 事務例会

・2026-2027 年度の川越クラブ行事の案を各自考えてきてください。

・五十嵐政二さんの入会とかほるさんのメネット、お披露目を予定しています。



6 月例会ボランティアリーダー報告

川越センターボランティアリーダー 木本慎太郎

こんにちは、私は、6 月 27 日(土)の例会で報告と挨拶をさせてもらった木本真太郎です川越センターでボランティアリーダーとして活動しています。

今回は、ユースグループで企画したイベント「ENBIROI」の内容をお知らせすると共に、川越ワイズメンズクラブの皆さんのご協力をお願い致します。

【主催】

YMCA クローバークラブボランティア部&ユースボランティアグループこの指とまれ (この指とまれば 埼玉県川越市にて、中高生の主体的なボランティア・社会活動を目的に、老人ホームでの傾聴やイベントをするチームとしてスタートしました。現在は月に1回~3回集まりゴミ拾いをしています。

YMCAクローバークラブ川越ボランティア部は、地域のユースボランティアグループ「この指とまれ」と協働して、ゴミ拾いを通じた地域交流イベント「ENBIROI」を企画しています。この活動では「地域交流」に焦点をあて、当日はゴミを拾うだけでなくマイトングづくりの工作ワークショップやゴミビンゴを企画しています。

企画を考える段階から「自分たちでつくる」ことを大切に、手作りの募金箱や当日チラシ、当日の進行表ひとつとっても右往左往しながら、時間をかけながら準備しています。

【イベント名】

ENBIROI(えんびろい)

～身近な発見は地面にあり～ 一緒にゴミ拾いしませんか

【目的】

「ENBIROI」(縁を拾う)は、特に若者・外国籍の方へ焦点を当てた地域交流イベントです。「ゴミ拾い」の参加しやすい活動をきっかけに、自分たちの手でまちをきれいにすることで地域との繋がりを感じ、人と一緒に活動する楽しさを通じ「縁」を育むことをねらいとします。

【日程】

2026 年 7 月 25 日(土曜日)

【集合時刻】

14:30 (14:00 開場 ボードゲーム等を用意しております。)

【解散時刻】

16:30

【当日集合場所】

ウェスタ川越 会議室2 埼玉県川越市新宿町 1-17-17

【タイムスケジュール】

14:00 開場(マイトングづくりやボードゲームをしながら過ごします)

14:30 ENBIROI スタート!

16:30 解散

【対象】

どなたでも (ただし、屋外での活動があります)

【参加費】

無料

ご参加、ご支援いただけると幸いです。



新井ゆうや 若松けんご 河合なほ 木本しんたろう

国際の舞台から

「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」 利根川恵子

この主題は、2026-2027 年のヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィック国際会長の主題です。



国際会長:ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィック(ノルウェー)

いきなり「ブルーミュージック」とは何を意味するのでしょうか。「ブルーミュージック」とは、エルトヴィック国際会長が使用している比喻で、音楽とは何の関係もなく、善意の行動や価値観を表しています。

以下、YMIワールド 2026 年 7 月号から引用いたします。

「マハトマ・ガンジーは、当時の最強の軍事力に立ち向かい、ただ善意だけを武器に勝利を収めました。マーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、黒人の兄弟姉妹のために新たな時代を切り開き、その武器は、ただ善意だけでした。ネルソン・マンデラは、流血なしに新たな南アフリカを築き上げ、その武器もただ善意だけでした。彼らは、ブルーミュージックの象徴であり英雄です。彼らは私たちの仲間です。私たちは、ブルーミュージックの家族の一員です。なぜなら、私たちは、この世界に善意を運ぶ者だからです。」私たちの活動は政治的なものではありませんが、「世界に善意を運ぶ者」として、この川越の地で、少しでも「ブルーミュージック」を奏で続けることができるようにしたいと思います。

(追伸)2026 年 7 月 1 日から新しいワイズ年度が始まりました。2026-2027 年度の国際執行役員は、以下のとおりです。



写真左から、次期国際会長:V. S. ラドクリシュナン(インド)、直前国際会長:エドワード・オン(シンガポール) 国際会計:スベンド・エリク・ニールセン(デンマーク)、国際書記:ジョース・バルギース(スイス)

リレー随想

「音が消えた我が家」

河合今日子

この 4 月から、息子が大学生になり一人暮らしを始めました。「社会人になる前に、一人暮らしの大変さと楽しさを経験させたい」という夫婦共通の想いもあり、幼い頃から「18 歳になったら家を出るんだよ」と冗談交じりに伝えてきました。親も覚悟を決めて送り出したはずでしたが、いざ息子がいなくなると、我が家から様々な「音」が消え、何とも言えない寂しさに包まれています。

四六時中流れていた様々なジャンルの楽曲、ピアノやクラリネットの音色、そして私に似ておっちょこちょいで常に騒がしかった物音……などなど。

振り返れば、息子は幼少期の食物アレルギーこそ大変でしたが、成長してからは親の心配をよそに、独自のマイペースさを発揮していきました。塾には頼らず自学で勉強を進め、友人関係のトラブルも皆無。親として唯一やきもきさせられたことと言えば、「使ったものを片付けない」ことくらいだった気がします(これも母似です)。学校の課題は休み時間にすべて終わらせ、家ではほとんど勉強せずに大好きな音楽に没頭する日々。その時々「好き」を大切にしながら、今は、大学で難しい法学に挑戦しつつ、大好きな語学の学びや、念願の大学オーケストラでの活動を楽しんでいます。

そして、アルバイトのない日には、時々 YMCA でボランティアリーダーとして活動しています。その様子を見てみると、YMCA 活動を通して自分が幼い頃そうしてもらったように、障がいの有無に関わらず、子ども達のありのままを受け入れられる心を育ててもらったように思います。

家を出る直前、息子は「いつか恩返しするからね」と言って出ていきました。私は、時折送られてくる自炊の写真に成長を感じつつ、近い距離ながらも会いに行きたい気持ちをぐっと堪えて見守る毎日です。法学を活かした仕事に就きたいという息子の描く未来への道はまだまだこれから。その「恩返し」の日が来るまで、私も心も体も元気に、静かになった我が家からエールを送り続けたいと思います。



YMCA報告

河合今日子

川越ワイズメンズクラブの皆様

初めまして。

込尾帆風(こみお ほのか)と申します。

7月に埼玉YMCA川越センターに異動してきました。

川口市出身ですが、苗字の込尾は富山県に多いそうです。

好きな食べ物は抹茶スイーツです。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

込尾



YMCA 報告その2です。

7月7日に子育て子育てセンターハナミズキ通り側外壁にYMCAプログラムのイメージパネルと懸垂幕を設置しました。

懸垂幕は主に会員募集に向けたメッセージを季節・時期に取り換えられるように取り外しができるものになっています。YMCAの周知度を上げ、それぞれのライフワーク、ライフスタイルにYMCAが選ばれることを願っています。皆さんも是非是非ご覧ください。数人でこのパネルを見ていると、通行の方も一緒に(つられて)見てくれます。複数人でご覧になることをおすすめします。



編集後記

今号も皆さんの協力で、内容豊富なブリテンが完成しましたのでご覧下さい。

川越センターには新しい職員が配属されたという、嬉しい報告もあります。

ワイズの年度は7月1日から翌年6月30日なので、川越クラブは29年目がスタートしました。次年度は30周年になります。今から考えて、何か記念に残るようなことが出来るといいですね。願わくば、私も40周年記念を見届けたいです。私は、明日14日日本発8月2日早朝羽田着でインドに行ってきます。この出張は、膝痛のため、2ヶ月遅れとなりました。暑くなってきました、皆さん、くれぐれもご自愛ください (KY)